

You & I

第24号

2025年

3月1日発行

あなたと私…優しさと愛…

年齢・性別に関わらず、互いに認め合い、心豊かにいきいきと暮らせる社会をつくりましょう。

1 …… 表紙 防災訓練の様子・地域みなさんとともに

2・3 … 特集 これからの防災 男女共同参画の視点

4 …… 講座報告・杉戸町女性相談窓口・With Youさいたま・内閣府相談案内



災害対策に多様な視点を

阪神・淡路大震災の発生から今年で30年が経ちました。その教訓を踏まえ、災害対策基本法をはじめとした各種法令の制定や改正、防災基本計画の大幅な修正、各種情報システムの整備等、様々な分野で防災対策の強化が図られています。しかし一方で、避難所運営の現場では、多様なニーズに対応しきれない現実が浮き彫りになっています。それは、固定的な性別役割分担が根強く存在し、意思決定の場での女性の参画不足が背景にあるとされています。災害対応力を強化するためには、女性や若い世代、要配慮者など多様な視点を取り入れる必要があります。一人ひとりの強みを生かし、だれもがリーダーシップを発揮できる環境をつくることが重要です。

女性も男性も生きやすい男女共同参画社会が一日も早く実現するよう、情報紙「You & I」はこれからも情報提供に努めてまいります。

すぎと男女共同参画情報紙

これからの防災 男女共同参画の視点

日本は災害大国。毎年のように大規模な災害が起きています。災害がもたらすリスクも変化しつつあります。

過去の震災では、災害による直接の被害だけでなく、避難所生活における身体・精神的疲労による「災害関連死」も多く報告されています。

国は自治体に対し、避難所生活での不便などを受け付ける女性相談窓口を設置したり、女性に配慮した運営を呼びかけるなどの対応をとっています。

また、こうした取組を強く推進するため「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画からの防災・復興ガイドライン～」を作成しました。杉戸町では、地域防災リーダーの育成などに女性の視点を取り入れ、地域の防災対応力を強化するよう努めています。

誰もが安心して過ごせる避難所運営のため、一人ひとりが様々な視点から考えてみましょう。

～助け合う避難所のあり方～

今までの避難所では実際どのようなことがあったのでしょうか。

本 部

男性のリーダーシップに期待した運営のため、昼夜問わず働くなど人々が疲弊している。



〈運営のポイント〉

- 避難所運営本部や、情報班(相談事のとりまとめ役)として女性や若者も協力する。
- 子育て・介護中の家庭の要望や困りごとにも積極的に聞き取り、運営に反映させる。

プ ラ イ バ シ ー

下着が干せない、着替えができない、怖くてトイレに行けない、ということが起こっている。

〈運営のポイント〉

- 間仕切り、パーテーションを用意
- 男女別更衣室、男女別休養スペースの設置
- トイレの安全(性被害防止)
- 女性用トイレを多く配置
- 授乳室、おむつ替えスペースの設置



物資配付

適切な知識がないため、必要な物資が届かない。
(女性用の下着、生理用品、育児用品等)

〈運営のポイント〉

- 多様な要望の積極的な掘り起こしのための、リクエスト票の活用
- 女性の担当者を配置する。
- 女性用品の配布場所を設ける。



炊き出し

大量の食事を用意しなければならないため重労働。
毎日のことなので女性ばかりのチームでは、疲労蓄積が激しい。

〈運営のポイント〉

- 炊き出しは、特定の性別や立場の人に偏らず、元料理人や得意な人が担当する。
- 重たい食材運びや、洗い物はできる人で分担する。
- アレルギーの問題は全員で注意する。



【避難等に関する防災情報】

杉戸町防災ウェブサイト

町内の防災情報を掲載(緊急時のみ)。※通常は町ホームページです。



メール配信サービス「すぎめー。」

- ① sugito-entry@sg-m.jp に空メール
- ② メール本文のアドレスにアクセス
- ③ 必要事項を入力(右QRコードから登録することも可能です)



埼玉県の防災ポータルサイト

県内の防災情報を掲載。



気象庁ホームページ

気象庁が発表している防災気象情報を掲載。



緊急速報メール

川の氾濫する危険をその周囲の人へ発信(登録不要)。



テレ玉データ放送サービス

- ① 地デジ3chに合わせる
- ② 「d」ボタンを押す
- ③ 「杉戸町からのお知らせ」選択

防災無線

24時間保存
フリーダイヤル:
0120(65)5714
防災無線の直前の内容を確認できます。

杉戸町危機管理課 X (旧Twitter)

町の防災情報を発信します。



Yahoo! 防災速報アプリ

緊急地震速報や避難情報、豪雨予報などをお知らせするサービス。スマートフォンで利用できるアプリ版で登録が必要。



iOS版

Android版

災害時における避難所の混雑情報

災害時に避難所の開設や混雑情報をインターネットにて確認。



《参考図書》

- 『こんな支援が欲しかった！～現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集』 東日本大震災女性支援ネットワーク、2012 <http://risetogetherjp.org/?p=2189>
- 『男女共同参画の視点で実践する災害対策：災害とジェンダー〈基礎編〉』 東日本大震災女性支援ネットワーク、2013
- 『子連れ防災手帳：被災ママ812人が作った』つながる.com編、メディアファクトリー、2012
- 『復興に女性たちの声を：「3・11」とジェンダー』村田晶子編著、早稲田大学出版部、2012



令和6年度
男女共同参画講座

災害・防災と男女共同参画

～避難所生活での課題～

実施日: 令和6年9月5日(木)10時～12時
会 場: 杉戸町役場 第二庁舎2階第1、第2会議室
講 師: 埼玉県男女共同参画推進センター 黒須さち子氏



参加者の声

- いつ来るかわからない災害を、最初から人任せにせず、一人ひとりがもっと主体的に考えなければならない。
- 災害時、病院の機能停止による初期治療の遅れや、既往症の増悪は想像できたが、避難所生活における身体的、精神的疲労の方がはるかに上回っているとは思わなかった。
- 能登半島地震でも、東日本大震災時の課題が同じように課題となっている。すべての課題の根底は、無償ケア労働の女性への偏りとジェンダー・バイアスだと知った。

*無償ケア労働＝家庭内で無償で行われている家事、育児、介護、看護

*ジェンダー・バイアス＝女性の無償ケア労働負担を「当たり前」とする平常時からの固定的性別役割分業意識

ひとりで悩まないで 杉戸町女性相談のご案内

夫婦のこと、家族のことで相談したい。
誰かに聞いて欲しいと思ったら…
お気軽にご相談ください。
専任の女性相談員がサポートします。

相談日: 毎月第1・3水曜日
時 間: 13:00～16:00
場 所: 杉戸町役場
費 用: 無料
申 込: 人権・男女共同参画推進課
☎ 33-1111 (内線217)
※毎月の日程は「広報すぎと」をご覧ください。

With Youさいたま相談案内

相談は、性別を問わず、無料、匿名でお受けします。秘密は守ります。埼玉県に在住・在勤・在学の方を対象にしています。

- ◆電話相談 様々な悩み相談 048-600-3800
DVに関する相談 048-600-3700
月～水、金、土曜 9:30～20:30
日曜、祝、休日 9:30～17:00
(木曜日、年末年始を除く)

- ◆インターネット相談 <https://www.pref.saitama.lg.jp/withyou/counsel/guide.html>

- ◆男性のための電話相談 048-601-2175
毎月第1、3日曜日 11:00～15:00
男性臨床心理士が電話相談に応じます。



内閣府相談案内

DV相談ナビ
#8008(はれれば)
DV相談+
0120-279-889

メール相談・SNS相談・外国人向け相談などにも対応しています。
詳しくは右のQRコードをご覧ください。



情報紙編集委員募集!

あなたの自由な発想で、「男女共同参画情報紙」の企画・編集に関わってみませんか。仲間たちと楽しく手づくりの情報紙をつくりましょう。経験は問いません。まずはご連絡ください。

- 編集会議 月1回程度 ●問合せ 人権・男女共同参画推進課 ☎33-1111 (内線217)

編集後記

■多様性の時代と言われている昨今、女性が下支えをする立場だけでなく、参画も担っているよう、システム作りが求められていると思います。(U)

■今回、誰もが安心・安全に過ごせる避難所について考えてみました。願わくば、避難所生活することなく過ごしたいものです。(M)

■昨年は大地震で始まり、南海トラフ警報と各地で大騒ぎしました。否応なしに防災に目が行く中、私達はいかに生きるか考えさせられます。(N)

■今私達に出来る事…: 地震災害を体験した方々のメッセージや活動を大切な学びと受け取り、防災対策を意識するきっかけにしたい。(E)

■東日本大震災の経験が能登半島地震に活かされていると聞きました。明らかにした反省点は改善していきたいです。(O)

■自然災害が多く少子化が進む日本。他人任せでなく、誰もが特技を生かして活躍し、大変な作業を分担することの重要性を学びました。(S)